

2025年7月 (No.433)

主な内容とページ

日本の半導体関連上場企業、回復ながら部分的.....	1
製造装置が躍進.....	2
上位2社が売上2兆円超.....	2
57社が最高売上を更新.....	5
利益額では信越がトップ持続、時価総額ではTEL.....	7
32社が最高利益を更新.....	8
27社が売上、利益ともに最高更新.....	8
利益率 大手が上位に食い込む.....	8
暑い夏に挑戦(SRL だより).....	12

日本の半導体関連上場企業、回復ながら部分的

半導体を収益の柱としている上場企業129社の24年度業績は回復に転じた。

1. 対象129社の総売上は前期比6.2%増の23.95兆円、経常利益は同37.0%増の3.76兆円と増収増益だった。経常利益率は前年度の12.2%から15.7%に増加した。
2. 129社中、57社が売上、32社が利益でそれぞれ過去最高を更新した。うち27社は売上および利益ともに最高を更新。輝く成果を達成した。
3. 製造装置分野の業績が好調、加えてキオクシア、JX金属の大型上場が全体数字を押し上げており、これらの要因を除けば、実態は低迷が続行している。

暑い夏に挑戦

本当に暑い気候。それも7月下旬は北海道から九州まで日本列島全体が灼熱状態。言っても仕方がないが、仕事、生活に影響が出る。それでなくとも参議院選や米国との関税交渉など熱くなりそうな材料が目白押し。去年は炎暑だったから今年は涼しいのではと期待していたが、全く外れた。

何か良いことは。身近な例ではエアコン、冷蔵庫など省エネ家電が普及、節電に貢献。外で作業をする方は、送風ファン付きベストの着用が増えてきた。今後は半導体による冷熱素子の開発、利用も活発になる可能性がある。着衣はもちろん住宅でも温度管理が出来、うまくいけば暑さ、寒さは、かなり克服できるかも。

EV(電気自動車)の普及は、半導体による電力管理に長足の進歩をもたらし、さらに今後は温度管理も半導体が貢献することを期待。それにしても半導体とは、何と可能性を秘めたものだろうか。産官学共同して開発を進め、直面している危機に挑戦すべきだろう。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。
この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。 2025 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2025 年 7 月(毎月 1 回発行)第 36 巻 7 号(通巻 433 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042(318)7729

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2025

SRL Monthly Report

July 2025, No.433

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

個人利用購読料金 1 年分 12 号 107,800 円(税込み)